

太陽光で低温殺菌牛乳作り支援



低温殺菌牛乳を製造する丹波乳業(丹波市)を支援するため、中古の太陽光発電パネルの設置費を兵庫の消費者グループがインターネットで募集したクラウドファンディングの金額が、目標の100万円

パネル設置費100万円達成

消費者団体ネットで募る

資金を募ったのは、低温殺菌牛乳は生乳に県内の消費者らでつく近い風味や栄養がある一般社団法人「みんなのが特徴。だが、近年の低温殺菌牛乳協会は酪農家と製造プラ

を達成した。趣旨に賛同する人々から126万円以上が集まった。消費者が求める食を守るための新しい仕組みづくりのモデルとなりそうだ。

(辻本一好)

新聞やネットによる情報発信で、低温殺菌牛乳の購入者のほか、自然エネルギー普及に賛同した人など約150人からの資金提供があった。今回移設したパネルでつくる安い電気を自家消費に近い形で購入することで、年間50万円程度の電気代を削減できるという。このほど丹波乳業で「このほど丹波乳業で」と話している。

あったお披露目会には約30人が出席。同協会の高石留美代表理事は「この牛乳を地元の人がかもつと誇りを持てるような活動を展開していきたい」と話した。無償提供されたパネルを低温殺菌牛乳支援につなげる役割を果たした非営利型株式会社宝塚すみれ発電(宝塚市)の井上保子代表取締役は「地域のエネルギーを結びつける取り組みを広げていきたい」と話している。

丹波乳業 食守るモデルに



同協会は丹波乳業の支援とともに、新たなファン獲得も目的に、クラウドファンディング大手のレディーフォグ(東京)と連携。大阪府内で市民発電所の先駆けとして、十数年電力供給してきた中古パネル(出力約30誌)の移設費約300万円のうち、100万円を62日間で集めるプロジェクトを昨年12月15日に始め、1月27日に100万円を達成した。

丹波乳業に設置した中古パネルとお披露目会参加者らのドローンを使った記念撮影。丹波市氷上町(NPO法人コミユニティリンク提供)